

2020年6月8日

心臓血管内科・心臓血管外科に通院中の患者さん・ご家族様へ
研究へのご協力をお願い

現在、国立循環器病研究センターでは、当院および心臓病センター榊原病院の診療情報を使って、下記の研究課題を実施しています。この研究は、これまでの治療のカルテ情報から得られた研究データをまとめるものです。この案内をお読みになり、ご自身がこの研究の対象者にあたると思われる方で、ご質問がある場合、またはこの研究に「自分の情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。

ただし、すでに解析を終了している場合には、研究データからあなたの情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

【対象となる方】2012年1月～2022年12月の間に、当院で僧帽弁逆流症の原因として Barlow 病または弁の線維弾性欠乏症（FED）、さらには他の原因による一次性僧帽弁逆流症と診断された方

【研究課題名】Barlow 病における僧帽弁逆流機序解明のための後ろ向き観察研究

【研究責任者】国立循環器病研究センター 心不全科 医師 天野 雅史

【研究の目的】Barlow・弁の線維弾性欠乏症（FED）症例の僧帽弁逸脱に関する全容を明らかにし、死亡・心不全入院・僧帽弁手術との関連を見ることが本研究の目的です。さらに、他の僧帽弁逆流症例での心エコー図検査における重症度評価、僧帽弁逸脱・重症逆流に対する手術術式に対する異なるアプローチを考える一助となり、最終的には手術時期・成績の改善につながることを期待されます。

【利用する診療情報】経胸壁・経食道心エコー図検査

診断名、年齢、性別、入院日、既往歴、家族歴、生活歴、内服歴、心不全などの入院歴、心臓手術歴・手術術式、心臓植え込みデバイス治療の有無、身長、体重、BMI、BSA、血圧、脈拍、SpO₂、NYHA 心機能部分類、心電図：不整脈発祥の有無を含む、CT・MRI 画像、カテーテル検査情報、採血データ：血液一般検査、生化学検査：腎機能・肝機能・栄養・電解質・糖尿・脂質・心筋/筋性酵素、脳性利尿ペプチド(心不全マーカー)、尿検査

【研究データの授受】

上記の診療情報を、下記機関から提供を受け、共同で研究を進めます。また同研究機関等に対し、取得した情報を提供いたします。

提供方法：電子的配信

提供機関：心臓病センター榊原病院 研究責任者 吉田 清

【研究期間】研究許可日より2025年3月31日まで（予定）

【個人情報の取り扱い】

お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。

この研究で得られた情報を将来二次利用する場合や、研究計画書を変更する場合があります。その場合は、研究倫理審査委員会での審議を経て、研究統括管理責任者の許可を受けて実施されます。その際、文書を公開する場合は、国立循環器病研究センター 公式サイト (<http://www.ncvc.go.jp>) の「実施中の臨床研究」のページに掲載いたします。

【問合せ先】 国立循環器病研究センター 心不全科 担当医師 天野 雅史
電話 06-6170-1070(代表) (内線 60144)